

「ごあいさつ」

新潟市 子育て未来部保育課長

南雲 洋子 様



新潟市私立保育協会の皆さまには、日頃より本市児童の健やかな成長にご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度より新潟市子ども未来部保育課長に着任しました南雲洋子です。前職は環境部で廃棄物対策に従事しており、まったく異なる分野ではありますが、前任の浅間課長を引き継ぎ本市の保育の充実・発展に貢献すべく精一杯、務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

皆さまには、新型コロナウイルス感染症への対応において日々の保育と並行して感染対策はもとより発生時の濃厚接触者の調整など責任と誇りをもってこの難局にご対応いただけてきたことに、あらためてお礼を申し上げます。

着任にあたり今年度の取り組みについてご紹介させていただきます。市では、妊娠・出産・子育て三施策を令和五年度の重点施策として実施しています。保育に関する事業としては、第三子以降の保育料等軽減制度を拡充させていただきました。すでに十分ご承知のことと存じますが、保育料無償を判定するためのきょうだい年齢の上限を、小学三年生から高校三年生までに引き上げたものです。このことにより保育料は約四四〇人、副食費は約一四六〇人が新たに無償の対象となりました。子育て期における経済的負担



を軽減し、安心して子どもを育てられる環境づくりを進められたと考えています。第二子の保育料無償化を進めることについては、引き続き指定都市市長会としても国へ要望しているところです。

国においては、子ども家庭庁が発足し、次元の異なる少子化対策の実現に動き出しています。本市においても、さまざまな取組を通じ、子どもたちが健やかに育つ環境、安心して子育てができる環境の土台づくりを進めてまいりますので、私立保育協会の皆さまのご理解・ご協力を重ねてお願いいたします。

